

研修報告

グローバル研修：退院支援研修②

◆テーマ：病院の機能を知ろう！

#DPC #コスト意識 #医療区分 #実績指数

◇配信方法：YouTubeによるオンデマンド配信

◇配信期間：2021年3月15日～3月29日

◇内容：

【動画講義】

- ・DPCとは 名古屋共立病院 統計室 武内 幸子 氏
- ・回復期リハビリ病棟の実際 偕行会リハビリテーション病院 澤田 昭宏 氏
- ・医療療養型病床の実際 新生会第一病院 山下 純子 氏

クライアントのニーズにあった適切な退院先が選択できる支援を行うために、DPC制度と回復期リハビリ病棟、医療療養型病床の診療報酬制度上の位置づけや算定ルール、運用の実際について理解を深めました。

◇受講者数数：56人

◇アンケート

コメント紹介◇ ～一部抜粋～

- ・DPCをコードから見るとバーコードのように非常によくできた文字列であることが理解できました。業務内で意識をしたことがなく診療録に頼っていることが多い、コードから治療や診療を見ることがあるが医事課の視点も学びました。回復期はクライアントにとって重要なタイミングであると理解している。急性期と自宅の中間で体と心にアプローチしていくことで今後の方向性が変わっていく大切な時期である。医療療養型はなくてはならない機能である。病状に向き合い生活スタイルを整える、医療と切り離せることが困難な状況の中で自宅（施設を踏まえ）へ帰宅している割合が高いことに大変驚きました。
- ・各病棟の診療報酬上の規定を詳しく解説いただいたことで、社会資源としてどのような役割を担っているのかより学ぶことができた。一口に回復期リハビリテーション病棟、医療療養型病棟といっても、それぞれの病院が何を算定しているかによって特色が異なることを学んだ。近隣の病院それぞれが算定している診療報酬から、スタッフ数や入院期間等を調べ直したいと思う。
- ・退院支援について今後多方面で知識を持ったうえで相手先の病院の状況を垣間見ながら対応できると連携がスムーズにいくと改めて確信できた研修でした。こういった研修で定期的に確認して自己流に陥らないある程度の質を保った支援ができるようにしていきたいと思いました。

退院支援研修②について

退院支援研修委員会 澤田 昭宏

当委員会初のYouTubeによるオンデマンド配信にて研修を開催しました。動画の作成や編集、アップロードなどは使用端末やオンライン環境により方法が変わるので、試行錯誤しましたが、なんとか期日通りに動画をアップすることができました。もちろん、動画のアップが研修の目的ではなく、参加者の選択肢が増え、内容の理解と知識の向上に寄与することが大切だと考えておりますので、今後は動画資料等の質の向上や視聴しやすさなども工夫をしていきたいと思っております。次年度も直接お会いできない研修形式になりそうですが、皆さまが楽しみにしていただけるような研修を目指してまいります。